



# 本人支援 (5つの支援)



## 認知・行動

### 認知の発達と行動の習得

視覚や聴覚などにより得た様々な情報を理解し（認知の発達）、そこから行動につなげていけるように支援を行います。

### 空間や時間、数量等の概念の習得

認知や行動のための手掛かりになる様々な概念について、遊びを通して楽しみながら習得できるように支援を行います。

### 周囲への適切な認知と行動の習得

それぞれの特性に応じた分かりやすい伝達方法（視覚情報、聴覚情報、身振りなど）を活用して支援を行います。

## 言語・コミュニケーション

### 言語の形成と活用

遊びを通して言語を習得し、言葉により相手の意図を理解したり自分の思いを伝えていけるように支援を行います。

### 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得

小集団・個別支援の中で他者と関わる経験を積み重ね、言語・非言語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。

### コミュニケーション手段の選択と活用

身振りやサイン、絵カードなど、特性にあわせたコミュニケーション手段を活用し、意思伝達が円滑にできるように支援します。

## 人間関係・社会性

### 他者との関わり、人間関係の形成

友だちや職員と親密な関係を築き、信頼関係を基盤として他者との安定した関係を形成できるように支援を行います。

### 自己の理解とコントロール

自分自身を理解し気持ちのコントロールができるよう、発達や状況に配慮しながら職員が介入し支援していきます。

### 仲間づくりと小集団への参加

小集団に参加するためのルールを理解し、楽しみながら集団活動や遊びに参加できるように支援する。

## 健康・生活

### 健康状態の維持・改善

健康な体と心を育てるため、健康状態のチェックや上着の着脱による体温調整を行うなど、病気の予防や安全に配慮します。

### 基本的な生活スキルの獲得

身だしなみを整える、清潔に保つ、衣類の着脱、排泄など、助言や援助を行い生活に必要な基本的スキルの獲得を支援します。

### 構造化により生活環境を整える

それぞれの特性に配慮し、タイムスケジュールや活動内容の構造化など、分かりやすい時間や空間の構造化を行います。

## 運動・感覚

### 姿勢と運動・動作の向上

手指の細かな運動から全身を使った大きな運動まで、様々な活動を通して姿勢保持や動作向上のための支援を行います。

### 様々な感覚を活用する

絵本、手遊び、歌遊び、感触遊びなど、様々な遊びの中で様々な感覚に触れることで楽しみながら発達を促していきます。

### 感覚の過敏や鈍麻など、感覚の特性への対応

子ども一人ひとりの感覚や認知の特性（感覚過敏や感覚鈍麻）を理解し、安心して過ごせる環境調整などの支援を行います。